

## 1 学年通信

## Practice Makes Perfect

担当：堀

## ・「希望」共に考えたい「信じ」「やり続ける」ことの大切さ！！

インターネットもABEMAもなかった30年前（1993年10月28日）。テレビにかじりつき、GK松永と同じ思いで、同点ゴールを見送った。あの悲劇から30年…2022年11月23日悲劇から歓喜に変わった。この30年世界的に見ればサッカー弱小国の日本はワールドカップ常連国となり「世界ベスト8を目指す」と恥ずかしげもなく言えるようになった。しかし、ワールドカップカタール大会において、同じグループにはワールドカップ優勝経験のある国が2つも入った。サッカーの知識の乏しい私でもわかるほどの強豪国、ドイツ・スペインが同グループに…。勝てるわけない、そう思っていたのは私だけではなかったのではないか。

## ・ドーハの悲劇

私とはジェネレーションギャップがある皆さんに少し説明を、1993年10月28日、翌年のサッカーワールドカップ初出場をかけたアジア地区最終予選、最終試合が開かれ、日本のカタールのドーハでイラクと対戦。

前半5分に、今もなお現役選手として活躍するキングカズこと三浦和良選手が先制のゴールを決める。その後イラクに追いつかれたものの、後半25分にゴン中山こと中山雅史選手（個人的には、私が一番好きなサッカー選手です）が勝ち越しゴールを決めて2-1。日本が悲願のワールドカップ初出場まで、あと数分という瞬間でした…。

後半ロスタイム。コーナーキックの機会を得たイラク代表は直接ゴールを狙うのではなく、素早くシュートパスを出して一度ボールをつなぎ、そこからセンタリング、そしてオムラム・サルマン選手がヘディングであわせ、ボールはGK松永選手の横を無情にも通り過ぎゴール左隅に吸い込まれました。

結果日本は、得失点差で2位の韓国に及ばず、最終予選3位に転落した結果、ワールドカップの出場は叶いませんでした。その、当時の日本代表メンバーに現日本代表監督の森保監督も選手として入っていました。

## ・2022ワールドカップカタール大会 ドイツ戦

前半は地獄のような展開でした。技術・高さ・フィジカル・スピード…全てにおいて全く通用しない。ボール回しには、大人と子供ほどの実力差を感じたのは私だけではなかったように思います。前半が終了すると、私は妻にテレビの主導権を渡し、就寝の支度に入りました。それでも気になりインターネットで経過を見ると…なんと2-1日本リード…「嘘でしょ」…再びテレビの優先権を妻から奪い、そこからはただただ時間が経過することだけを祈りテレビの前で祈りました。勝利を収めた日本を見て、にわかファンの私は長友選手の「ブラボー」と同じように興奮してしまいました。

## ・まさかのコスタリカ戦 敗退 からの スペイン戦 勝利

大方の期待を裏切って、ストレスだけが貯まるコスタリカ戦。チームとして勝ち点1を目指したのか、勝ち点3を目指したのか、ほとんどビジョンがわからない試合展開で敗退…戦犯は誰だ…なんて批判するサポータは山のようになっています。SNSでは、現代社会の得意技である炎上。ドイツに勝ったことにより、それまでグループ突破を期待すらしなかった多くの国民は、グループ突破は大前提という思考になり、大批判が始まりました。

「日本での反響はわかりません」選手たちはそういうものの、少なからず届いてはいると思います。（スペイン戦後の久保選手のインタビューからは、そのような印象を受けました。）ドイツ戦での勝利で起こった「手のひら返し」がコスタリカ戦での敗退により「手のひらひら返し」が起きました。

事実上スペインに勝たなければ、グループ突破はなくなった日本。何人の国民がスペイン戦での勝利を信じたでしょう。そんな私も、「自分が応援すると…」「自分が期待すると…負けてしまう」と、験担ぎ（げんかつぎ）の振りして応援することを諦め、睡眠を優先した一人です。

しかし、日本の選手は強かった…JFA（公益財団法人日本サッカー協会）が公式で出している映像では、勝利を信

じる選手の姿が映し出されています。不安もあったでしょう。しかし、それを表に出さず「自分たちならやれる」そんなエネルギーな選手の姿。さすが日本代表。こういう人が何かを成し遂げるのだと学ばせてもらいました。この情報化社会の中で、SNS上匿名で批判をする卑怯者など相手にせず、ただ勝利を信じ純粋にサッカーで勝利を目指した選手、そして勝利を収めた選手・チーム・チームスタッフ…素晴らしいです。これぞ、スポーツ！！感動しました。（SNSの拡大により、その負の影響はますます顕著になり、選手の感じるプレッシャー・ストレスは常人にははかり知れないものだと思います）

### ・考えたい

すみません…ここまで、ただのサッカーファンみたいな文章になりました。一緒に考えたいのは、今回のワールドカップカタール大会には大きなドラマがあり、ここに学びたいということです。

30年前、失意の底にあった日本のサッカーは、「諦めなかった」。失意の底で次の成功のために努力した。初出場したワールドカップフランス大会では、ひとつの勝利をあげることもできず、選手は空港で水をかけられる始末。日韓・ドイツ・南アフリカ・ブラジル・ロシアと各大会をつないで、カタール大会。世界の強豪校ドイツ・スペインを破るまでの国となりました。ベスト8を逃したものの、ブラジルを破ったクロアチアとPKまでもつれる激闘を繰り広げるまでになりました。

「やり続ける」その力は、成し遂げられなかったことも成し遂げられることができるのだと、学ばせてもらいました。みなさんも、今、成功しないことは、未来も成功しないこととは限りません。「やり続けること」で成し遂げられることになる可能性があるのではないのでしょうか？皆さんには、すぐ諦める人ではなく「挑戦し続ける人」であって欲しいと思います。2023年も、「希望」を持ち、頑張りましょうね！！

## ☆1月（睦月）の行事予定・月訓『希望』

|    |   |                  |    |   |                  |
|----|---|------------------|----|---|------------------|
| 1  | 日 | 元旦               | 17 | 火 | ベネッセ総合学力テスト（終日）  |
| 2  | 月 | 閉門               | 18 | 水 |                  |
| 3  | 火 | 閉門               | 19 | 木 | 入試準備（授業3限 午後 準備） |
| 4  | 水 |                  | 20 | 金 | 一般入試             |
| 5  | 木 |                  | 21 | 土 | 受験対策講座（I類）       |
| 6  | 金 | 始業式              | 22 | 日 | 実用英語検定 ・ 全商簿記検定  |
| 7  | 土 |                  | 23 | 月 | 情報技術検定           |
| 8  | 日 |                  | 24 | 火 |                  |
| 9  | 月 | 成人の日             | 25 | 水 | 実力診断テスト（1～3限）    |
| 10 | 火 | 課題試験             | 26 | 木 |                  |
| 11 | 水 | 課題試験             | 27 | 金 |                  |
| 12 | 木 |                  | 28 | 土 |                  |
| 13 | 金 | 入試準備（授業3限 午後 準備） | 29 | 日 | 全商情報処理検定         |
| 14 | 土 | 大学入学共通テスト        | 30 | 月 | 全校朝礼 ・ 身だしなみ指導   |
| 15 | 日 | 大学入学共通テスト        | 31 | 火 |                  |
| 16 | 月 | 推薦・特色入試 在校生 休校   |    |   |                  |

## ☆コラム『道』

この道を行けばどうなるものか 危ぶむなかれ 危ぶめば道はなし

踏み出せば その一足が道となり その一足が道となる

迷わず行けよ 行けばわかるさ

～～～ Team Blue-1 Manager ～～～